

人工呼吸器抜管後嚥下障害の治療のために受診中あるいは受診経験のある  
患者様またはご家族様へ  
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センターリハビリテーション科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者様及び本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

人工呼吸管理中の嚥下機能調査

【研究の背景と目的】

近年、人工呼吸器を離脱し気管チューブを外した後の嚥下障害が注目されるようになり、院内肺炎や再挿管、入院期間や死亡率を上昇させると報告されています。原因としては挿管期間の長期化が挙げられますが、臨床場面では要因が多因子にわたる場合も多く、統一された見解はありません。そこで、今回、人工呼吸管理を48時間以上行った患者さんのカルテを使用して、人工呼吸管理に由来する嚥下障害の要因を調査します。

【対象となる方】

- 人工呼吸管理時の年齢が18歳以上の患者さん
- 2020年4月1日～2024年3月31日までの間に人工呼吸管理が48時間以上となった患者さん
- 主治医から言語聴覚療法のリハビリテーション処方された患者さん
- 人工呼吸管理時に嚥下機能評価と身体機能評価を実施している患者さん

【使用する診療情報】

- 基本情報  
生年月日、性別、挿管日数、疾患名、嚥下障害を起こし得る現疾患・既往疾患、入院日、経口抜管から経口摂取開始までの日数
- 観察項目  
せん妄の有無
- 挿管中の嚥下機能  
咽頭浮腫の有無、咽頭反射の程度、指示嚥下/刺激による嚥下の可否、気管チューブによる咽頭痛み/違和感の有無  
胃食道逆流の有無、人工呼吸器離脱時の Functional Oral Intake Scale
- 挿管中の運動機能  
Functional Status Score for the ICU（寝返り、起き上がり、座位、起立、歩行の評価）

【研究期間と参加予定人数】

この研究は臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長の許可日（2024年6月1日）から2025年3月31日まで実施され、60名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう被験者コードで匿名化されたのち解析を行います。また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本集中治療医学会または日本摂食嚥下リハビリテーション学会での発表及び論文投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター リハビリテーション科 教授 上條義一郎（医師）

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター リハビリテーション科 担当者：谷津潤一（言語聴覚士）  
埼玉県越谷市南越谷 2-1-50 電話番号：048-965-4928（リハビリテーション科直通）（PHS 6259）  
受付時間：9:00～17:10（月曜～土曜日 第3週の土曜日を除く）

以上